

## あかね雲の向こう

お彼岸を過ぎた頃の  
朝まだ寒い中で  
東空わたるあかね雲

少し前までは暗く  
あかりに照らされた道  
今は自然の光に

地平線スレスレ  
厚い雲のしかかる  
まるで昨日 までの  
忘れ物のように

でもその向こう  
無限の光  
思わせる  
空いろ包んだ赤く染まる雲

厚い雲途切れた隙間  
かすかに見えてた山の  
稜線くっきりわかる

普段では気にもしない  
思いもよらない形の  
シルエット浮き出る

遠くの山 近くの屋根  
一つにつながる  
まるで人工的なものを  
覆ってしまうように

でもその向こう  
希望の光  
思わせる  
空いろ包んだ赤く染まる雲